



Title	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援
Author(s)	大阪大学附属図書館
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102690
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新任教員研修プログラム

オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援②

オープンアクセスの背景と経緯2： オープンアクセス運動の流れ



オープンアクセス運動：出版社への対抗①

■ 「学術誌をアカデミアの手に取り戻す」 (by NII船守准教授)

- 1994年 Stevan Harnad 「転覆提案」
- 1998年 SPARC の発足
- Elsevierのボイコット運動

■ プレプリントサーバ／機関リポジトリの誕生

- 1991年 "arXiv"の前身となるプレプリントサーバが誕生
- 1996年 バージニア工科大学が世界初の機関リポジトリを立ち上げる

■ オープンアクセス出版社の誕生

- 1998年 BioMed Central設立
- 2001年 PLOS発足

オープンアクセス運動：出版社への対抗②

■ ブダペスト・オープンアクセスイニシアティブ (BOAI) (2002年)

• オープンアクセスの定義*

[ピアレビューされた研究文献]への「オープンアクセス」とは、それらの文献が、公衆に開かれたインターネット上において無料で利用可能であり、閲覧、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、論文フルテキストへのリンク、インデクシングのためのクロージング、ソフトウェアヘデータとして取り込み、その他合法的目的のための利用が、インターネット自体へのアクセスと不可分の障壁以外の、財政的、法的また技術的障壁なしに、誰にでも許可されることを意味する。複製と配布に対する唯一の制約、すなわち著作権が持つ唯一の役割は、著者に対して、その著作の同一性保持に対するコントロールと、寄与の事実への承認と引用とが正当になされる権利とを与えることであるべきである。

• オープンアクセス実現の2つの方法

- セルフ・アーカイビング（グリーンオープンアクセス）
- オープンアクセス・ジャーナル（ゴールドオープンアクセス）

<https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai10/japanese-translation/>

政策レベルでのオープンアクセスの動向①

■ 公的助成による研究成果のオープンアクセス化

- 米国 国立衛生研究所(NIH)
 - 2005年 パブリックアクセス方針：著者最終稿の提出を要請
 - 2008年 著者最終稿のPubMed Central (PMC) での公開を義務化
- 英国研究会議(RCUK)
 - オープンアクセス出版の義務化
 - 必要なAPCを研究機関に助成金として配分
- 日本 内閣府「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」（2024.2）※
 - 2025年度新規採択分より、競争的研究費制度の助成を受けた研究成果論文（査読付ジャーナルに掲載されたもの）とその根拠データの即時オープンアクセス化を義務化

政策レベルでのオープンアクセスの動向②

■ 日本の施策

- 国の政策文書等
 - 「第4期科学技術基本計画」(2011年8月) → 「第5期科学技術基本計画」(2016年1月) → 「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(2021年3月)
 - 「統合イノベーション戦略2023」(2023年6月)
- プラットフォームの整備
 - 「J-Stage」のサービス開始(1998年～)
 - NIIによる各大学の機関リポジトリ構築支援(2005年～)
- 義務化への動き
 - 学位規則の改正による博士論文のインターネット公開義務化(2013年4月～)
 - JSPS「日本学術振興会の事業における論文のオープンアクセス化に関する実施方針」(2017年3月)
 - JST「オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針」(2017年4月)
 - 内閣府「**学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針**」(2024年2月)

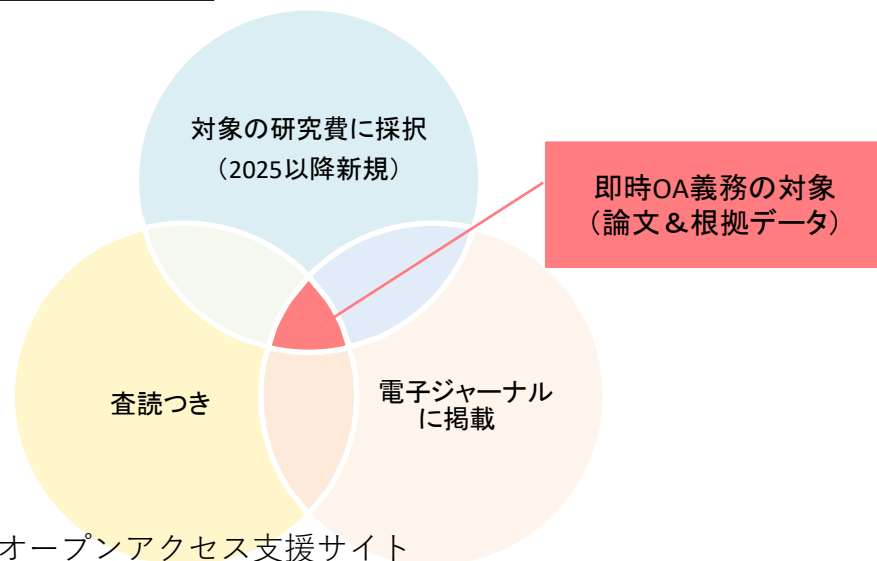
学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

■義務化対象

- ・ 対象の競争的研究費＊に2025年度以降に新規採択された研究の成果
- ・ 査読付きの電子ジャーナルに掲載
- ・ 論文と論文根拠データ

＊対象の研究費

- ・ JSPS 科学研究費助成事業
- ・ JST 戦略的創造研究推進事業
- ・ AMED 戦略的創造研究推進事業
- ・ JST 創発的研究支援事業

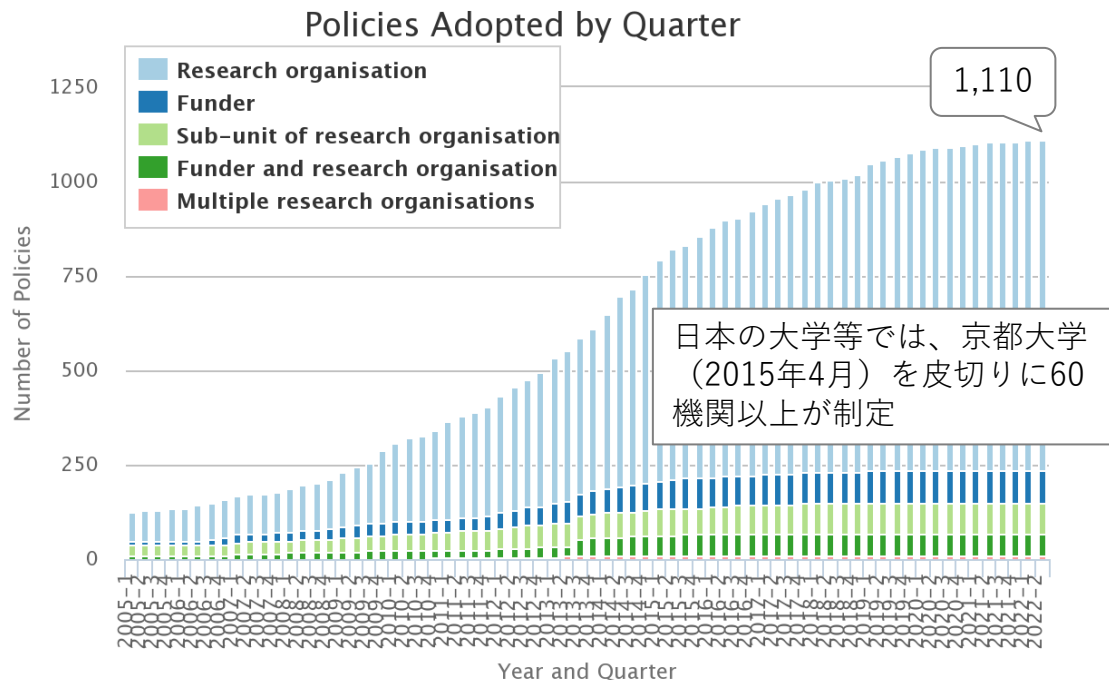


詳細：大阪大学オープンサイエンス推進室 研究データ管理・オープンアクセス支援サイト

「国のオープンアクセス基本方針への対応方法」 <https://osoa-portal.osaka-u.ac.jp/research-disclosure/oa-policy/>

研究機関におけるオープンアクセス方針

■ オープンアクセス方針を策定する機関の増加



「オープンアクセスからオープンサイエンスへ」

■ データのオープン化を促す流れ

- データサイエンスの発展
- 研究データ共有・公開による学術研究の発展・イノベーションの促進
- シチズンサイエンス
- 研究公正 etc.

■ オープンサイエンス

研究データのオープン化の理念 + (従来の論文の) オープンアクセス化の理念を包含する概念

オープンアクセスは学術情報の流通の変化はもとより、オープンサイエンスという概念のもと、イノベーションや社会の変革といった、より大きな文脈のなかに位置づけられるようになってきている。

次の動画

オープンアクセスの方法



次の動画

オープンアクセスの方法

視聴後は
確認問題へ！

